

種名	<p>オ オ ル リ</p> <p><u>Cyanoptila cyanomelana</u></p> 													
分類	スズメ目ヒタキ科ヒタキ亜科"													
特徴	<p>高い梢でさえずる、目のさめるようなルリ色の背をした鳥。主に東アジアの温帯で繁殖する。日本でも夏鳥として渡来し、北海道から九州までの丘陵、山地で繁殖する。渡りの時期には市街地でも観察される。</p>													
生活	<p>主に谷沿いのよく茂った林に棲息し、枝先から谷間の上空に飛び出し、フライングキャッチで飛んでいる昆虫類を捕まえる。オスは目立って高い木の梢に姿を現して、大きな声でさえずる。巢のそばに人や外敵が近づいた非常時には、メスもさえずることがある。つがいで縄張りを持つが、その縄張りは谷沿いに1列に並んでいることが多く、谷の林道などを歩くと、一定間隔でオスのさえずりが聞かれる。</p>													
声	<p>繁殖期には高い木の梢や枝先などにとまって「ピーヒーリリ、ピピーピーリ、ジジッ」などと、よくとおる声でさえずる。いくつかの替え歌を持ち、他の小鳥の鳴き真似を取り入れることもある。なお、メスもオスも似た声を出す、「クワッ、クワッ」と地鳴きを入れることも多い。日本の三鳴鳥の一つである。</p>													
見分け方	<p>オスの配色はコルリに似るが、オオルリではのどは黒く、体をたてとまる。メスはキビタキのメスなどに似るが、大きさはより大きく、背面は赤みがあり、のどと腹部ははっきりと白い。</p>													
時期	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>(月)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	10	-	-
(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	10	-	-		
その他	全長(L) 16cm 翼開長(W) 27cm													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														